

# くすのき



学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成

## 理科の学習でプログラミングに挑戦!

今年度も、1月26日(月)、27日(火)の2日間、呉市教育委員会からICT支援員の方々にゲストティーチャーとしてお越しいただき、理科の授業でプログラミング教材「mBot」を活用した学習に取り組みました。

6年生の子供達は、タブレットとmBotを使ってセンサーの働きや動きの仕組みを確かめながら、「どうすれば思い通りに動くのか」を考え、試行錯誤を重ねていました。うまくいかない場面でも、条件を変えながら何度も挑戦する姿が見られました。mBotは、楽しみながら理科の学びを深めることができる大変有効な教材です。この学習を通して、プログラミングにおいて重要となる原因と結果を結び付けて考える力を育てていきます。



## 広中央中学校区第3回研究授業

1月26日(月)に、広中央中学校区の合同研修会を実施し、今年度第3回となる研究授業を広小学校で行いました。研究主題「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成— 個を大切に支援の工夫と豊かな関わりを通して —」のもと、広中央中学校区3校の職員が一堂に会しました。今回は、第5学年の算数科および第6学年の社会科の研究授業を参観させていただきました。授業を参観した後、視点に沿った協議を行い、大変有意義な学びの場となりました。また、呉市教育委員会 学校教育課 指導主事の岩城祥子先生よりご指導・ご講話をいただき、9年間を見通した取組を中学校区で進めることの重要性についてご教示いただきました。

さらに、今回の研修会では、ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 児童学科准教授兼 インクルーシブ教育研究センター長の青山新吾先生をお迎えし、ご講演をいただきました。児童生徒一人一人の実態を丁寧に把握し、どの児童生徒も「分かる・できる授業の創造」に向けて、多くの御示唆をいただきました。今回の研修で得た学びを、今後の三坂地小学校の取組に生かしていきたいと考えています。

